

第177回防衛調達審議会議事要旨

1 日時

令和4年11月16日（水）10時00分～13時00分

2 場所

防衛省庁舎A棟11階第1省議室

3 出席者

(委員)

河村会長、片岡委員、柴山委員、西谷委員、藤川委員、星委員

(防衛省)

防衛装備庁 春日原長官官房審議官、萬浪装備政策部長、森調達管理部長、柴田調達事業部長、渡野監察監査・評価官（事務局）

中島統幕首席後方補給官、陸幕装備計画部長代理装備計画課補給管理班長、伊藤海幕装備計画部長、小島空幕装備計画部長

4 議題

(1) 随意契約に係るサンプリング調査審議

(2) 1者応札・1者応募案件に係るサンプリング調査審議及び仕様書等に係るサンプリング調査審議

(3) 第174回防衛調達審議会 後日回答案件調査審議

(4) 次回の日程等

5 議事概要

(1) 随意契約に係るサンプリング調査審議

令和3年度に航空自衛隊第3補給処が締結した契約の中から、サンプリング調査審議の対象として委員が抽出した「レーダー・セット AN/APG-63 構成品修理（国外修理）」について審議を行った。

(レーダー・セット AN/APG-63 構成品修理（国外修理） 契約の概要)

本件は、F-15に搭載された火器管制装置であるAN/APG-63(V)0の故障した構成品を修理役務契約締結後、三菱電機特機システム株式会社にて故障部品を特定し、当該部品が技術非開示品に該当していた部品については、当該品の

製造元であるアメリカ合衆国のRaytheon社と国外修理契約を締結し、修理を実施し、技術非開示品に該当しない部品については、三菱電機特機システム株式会社において修理を実施する役務契約である。

【事前調査における論点等】

- ① 技術料、ロイヤリティ、利益について三菱電機との技術援助契約及びレイセオンとの技術援助契約との相違を含めそれぞれ具体例を示し、説明されたい。また、ロイヤリティ、技術料、利益の予定価格計算上の関係性についても説明されたい。特に、WGCI Pの観点からレイセオンの利益部分に対し三菱電機特機システムの利益が発生する構造についても説明されたい。
- ② F-15の200機分の運用時間の想定、修理工程の長期計画（ライフサイクルコスト検討対象に該当しているのかを含め）について説明されたい。また、ライフサイクルコスト対象品に該当する場合、当該契約はどのように位置づけされ、分析されているのか説明されたい。

【本審議】

(資料に基づき防衛省側から説明)

(レーダー・セット AN/APG-63 構成品修理 (国外修理))

事前調査の論点①及び②について

委：三菱電機から得られる情報の内容は、技術料の対価として妥当であるか検証しているか。

防：三菱電機特機システムから内容について聞き取り調査を行い、また、過去の技術料の支払い実績等から妥当性を検証している。

委：今後、技術料の上昇や企業の再編等により同様な手数料が新たに設定される場合、その内容の妥当性について引き続き検証されたい。

防：今後、手数料の上昇等あれば、慎重に検証したい。

委：有事等の場合、平時と比較し故障率は増加傾向になると思われるが、それに対応できるようバックアップ態勢について、今後具体的に検証されたい。

(2) 1者応札・1者応募案件に係るサンプリング調査審議及び仕様書等に係るサンプリング調査審議

【1者応札案件に係るサンプリング調査審議案件1件】

- ① 複合機の借上

【1者応募案件に係るサンプリング調査審議案件1件】

② 緊急射出装置用火工品の命数延長調査

【仕様書等に係るサンプリング調査審議（複数者応札）案件1件】

③ 什器（Webカタログ方式（通信販売方式）

【事前調査における論点】

① 複合機の借上

- ・①-1及び①-2のそれぞれの単価を示されたい。また、カタログ販売価格や店頭販売価格、過去の調達（購入）価格と比較しリース契約にすることの妥当性及びリース価格（単価）の妥当性について説明されたい。
- ・当該契約が1者応札となった要因は、世界的な半導体不足により製品確保が困難となったためとの推察であるが、再リースのような現品を使い続けるという選択肢について検討されたか説明されたい。また、検討されていない場合は、その理由についても説明されたい。
- ・過去の同種の契約実績（数量、単価を含め）を示されたい。
- ・①-1は1回目の入札が2者応札であったのに対し、2回目以降1者応札となっている。再公告となったことからしても①-1が1者応札となった要因は価格の問題ではないのか。価格の問題ではない場合はその理由を、価格の問題である場合は、見積額と第1回目の予定価格の差異について内訳表を示し、説明されたい。
- ・所有している空自全体の複合機のうち当該契約は①-1及び①-2のそれぞれはどの程度の割合であるか説明されたい。

また、今後ペーパーレスに対応するため所有台数を減らしていく計画とのことであるが、その計画全体の中での今回の契約はどのような位置づけであるか説明されたい。

② 緊急射出装置用火工品の命数延長調査

- ・ダイセルが防衛産業から撤退することが決定してから藤倉航装へ技術資料等が譲渡されるまでの経緯と防衛省側の関与状況（円滑な譲渡が実施されれば、当該契約の締結は不要となった可能性があると考えるが当該契約の締結の可否も含め）について説明されたい。
- ・ダイセルの防衛産業撤退に伴う命数延長調査全体にかかった費用（各契約の合計金額）を示されたい。
- ・②-1及び②-2の契約金額は、高額であると考える。当初の購入単価及び当該契約の調査内容を説明されたい。

- ・ダイセルの防衛産業撤退に伴う命数延長調査全体において、命数延長が可能との結果だったとして、新規購入する場合の費用（命数延長分の日割）との対比について説明されたい。
- ・当該調査結果より影響を受ける数量について示されたい。またこの結果により何個分が延長可能となるのか費用対効果の観点も踏まえ説明されたい。

③ 什器（Webカタログ方式（通信販売方式））

- ・中央、陸自、海自を含めた過去の類似契約の実績（件名、数量、応札者、応札金額）を示されたい。
- ・システム構築は他に先行した空自独自の仕様によるものとのことだが、中央、陸自、海自は別にそれぞれの仕様を用いてシステム構築しているのか説明されたい。
- ・当該契約の想定された応札可能者について示されたい。
- ・空自独自の Web カタログ方式に限界を感じるが、改善の余地について説明されたい。
- ・当該契約の具体的な発注内容について説明されたい。また、なぜ他業者が参入出来ないのか説明されたい。

【本審議】

（資料に基づき防衛省側から説明）

① 複合機の借上

委：ペーパーレス化について、出力枚数を減らすことが重要であるが、どのように検討されているのか。

防：平成31年度から出力機器の最適化を行っており、環境省のガイドラインに沿って、枚数の基本設定をしている。また、過去の実績枚数も考慮した上で設定している。

委：承知した。

② 緊急射出装置用火工品の命数延長調査

委：設備、人材が譲渡されていないとのことだが、納期内に品質保証されたものが納入できるのか。

防：品質保証面でのサポートとして、ライセンサーから技術援助等が提供される。また、官としても品質保証のみならず事業管理を含め藤倉航装をサポートし、納期内に納入できるよう対応していきたい。

③ 什器（Webカタログ方式（通信販売方式））

委：離島などの輸送について工夫をし、更に競争性を確保されるよう検討されたい。

委：購入時にシステムを使用するため、セキュリティ対策が適切になされている企業と契約されたい。

防：承知した。

委：品目数はどのように決定されているのか。

防：各部隊からの要求事項を補給本部にてとりまとめをし、決定している。

（3）第174回防衛調達審議会 後日回答案件調査審議

【第174回防衛調達審議会 後日回答案件調査審議事項】

① TH-135の機体維持等にかかる包括契約

・PBL契約について、改善すべき点はないとのことであるが、PBL契約件数は増えているのか。

② 車両搭載高出力レーザ実証装置の研究試作

・当該契約で得られた研究成果は、関連する契約が後日あった場合、その契約締結後、貸付け文書として開示されるとあるが、契約締結前に応募会社に対して開示することは可能か。

・応募会社が提案したカタログ値について、官側が採用する値の算出及び評価方法及び配点方法について、後日、より詳しく説明されたい。

【本審議】

（資料に基づき防衛省側から説明）

① TH-135の機体維持等にかかる包括契約

委：PBL契約に準ずる契約はあるのか。また、PBL契約であるとわかる特徴を説明されたい。

防：PBL契約に準じた契約という定義はなく、PBL契約には、専用の特約条項を付して契約を締結している。

② 車両搭載高出力レーザ実証装置の研究試作

委：当該評価会議の構成メンバーについて説明されたい。

防：当該案件の技術等に関わっている部内者で構成されている。

(4) 次回の日程等

我が国の防衛力の今後の方向性等について、防衛装備庁装備政策部長から説明を行った。

委：防衛力強化のそれぞれの課題について、実効性を高められるよう、優先順位をつけて、着実に取り組まれない。

委：有事の際に正確な情報を入手できるよう、平時から様々な階層において幅広に係各部署間の情報共有を実施しておいてほしい。

防：承知した。

次回は12月22日（木）の開催の予定。詳細については、事務局から後日連絡。